

上手な使い方 (WX-DR131)

メモリーモードやクイック設定モードを活用すれば、現場での設定変更をスムーズにできます。

- ①使用頻度の多い設定項目をクイック設定モードに登録しておけば、すぐに呼び出せます。
- ②A 帯マイク/B 帯マイクの設定をメモリーモードに登録しておけば、すばやく切り替えることができます。
ワイヤレスマイクのリモートコントロール設定も記憶できます。

①クイック設定モードの登録と呼び出し

①-1. 【登録操作】メモリーモードへの遷移 (取扱説明書 34 ページ)

運用モードからであれば、UP ボタン [▲] を長押し後、戻るボタン [EXIT] の長押しでメニューモードに遷移します。
その後、UP ボタン [▲] を 1 回押して「MEMORY MODE」を選択し、設定ボタン [SET] を押すと遷移できます。

①-2. 【登録操作】メモリーモードでクイック設定の設定項目の割り当て (取扱説明書 77 ページ)

メモリーモードは取扱説明書 73 ページの項目の順番でメニュー表示されていきます。
上記、「MEMORY MODE」選択後、設定ボタン [SET] を押すと画面には「MEMORY LOAD」と表示されます。
その状態から DOWN ボタン [▼] を 3 回押すことで「QUICK 1 SET」が呼び出せます。
UP ボタン [▲] または DOWN ボタン [▼] で、「QUICK 1 SET」～「QUICK 6 SET」を選択します。
設定項目を 6 項目割り当てることができます。使用頻度の多い設定を割り当てておくことで便利です。

(例) BAND SELECT	帯域設定 (65 ページ)	*BAND の意味: A 帯 (1.2GHz)、B 帯 (800MHz) の切り替え設定
REMOTE CTL	マイクリモートコントロール設定 (62 ページ)	
STANDBY	マイクスタンバイ設定 (64 ページ)	
RF ATT	アンテナアッテネーター設定 (54 ページ)	
BAND・FREQUENCY	バンド・周波数設定 (51 ページ)	*A 帯 設定時、BAND は WIDE、NARROW の切り替え
LATENCY・FREQ	遅延モード・周波数設定 (52 ページ)	*B 帯 設定時
INT METER RESET	内部電池使用時間ゼロリセット (55 ページ)	

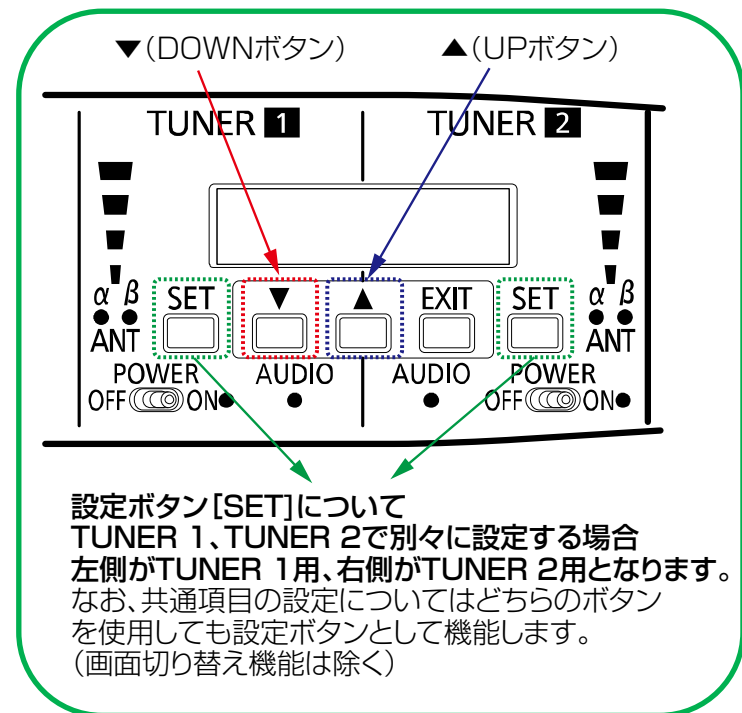
①-3. 【呼び出し操作】クイック設定モードへの遷移 (取扱説明書 34 ページ)

運用モードからであれば、UP ボタン [▲] または DOWN ボタン [▼] の長押しで遷移ができます。

①-4. 【呼び出し操作】クイック設定モードで設定する (取扱説明書 66 ページ)

UP ボタン [▲] または DOWN ボタン [▼] で QUICK 1-6 を選択し、設定ができます。

■ クイック設定モードで設定する (例として BAND SELECT)



設定ボタン [SET] について
TUNER 1、TUNER 2 で別々に設定する場合
左側が TUNER 1 用、右側が TUNER 2 用となります。
なお、共通項目の設定についてはどちらのボタン
を使用しても設定ボタンとして機能します。
(画面切り替え機能は除く)

1.帯域設定
UP、DOWN ボタン [▲、▼] を押し、A (1.2GHz)、B (800MHz) から選択して設定します。

②メモリーへの登録と呼び出し 【主要目的: マイクリモートコントロールするためのペアリング情報 [受信機側] を保存する】

②-1. 【登録操作】A 帯マイクでマイクリモートコントロールを設定する (取扱説明書 62 ページ)

①でクイック設定モードに REMOTE CTL を登録していればすぐに設定可能です。

チューナー 1/2 それぞれ別のマイクを設定する。

<注意点> チューナー 1/2 どちらかでリモコン設定していた場合、ペアリングできないことがあります。

→下記どちらかの方法で解除してから設定しなおしてください

- ① 設定したいチューナーに別のマイクをリモートコントロール設定後、再度リモートコントロール設定する。
- ② メモリーモードのメモリーの初期化 (M0-M3) を実行する。※この場合、全設定の初期化 (ALL) のご利用は避けてください。
初期化 (M0-M3) では現在の M1~M3 メモリー設定等が工場初期出荷設定に戻りますが、クイック設定モード登録は消えません。

②-2. 【登録操作】メモリーモードへ遷移 (取扱説明書 34 ページ)

運用モードからであれば、UP ボタン [▲] を長押し後、戻るボタン [EXIT] の長押しでメニューモードに遷移する。その後、UP ボタン [▲] を 1 回押して「MEMORY MODE」選択後、設定ボタン [SET] を押すと遷移できます。

②-3. 【登録操作】設定パターンの保存 (取扱説明書 75 ページ)

上記操作後に「MEMORY LOAD」と表示されるので DOWN ボタン [▼] を 1 回押して「MEMORY SAVE」を表示させます。

その後、設定ボタン [SET] を短押し後、DOWN ボタン [▼] または UP ボタン [▲] で「M1」～「M3」を選択します。

保存したいメモリー番号を「M1」～「M3」から選択します。お買上げ時はメモリー名が未設定のため「M1 MEMORY-1」「M2 MEMORY-2」「M3 MEMORY-3」と表示されます。ここでは「M1」に A 帯マイクの設定パターンを保存します。

メモリー番号「M1」を設定ボタン [SET] で選択し、UP ボタン [▲] を押し「M1 SAVE YES」を表示後、設定ボタン [SET] を押すと保存されます。

②-4. 【登録操作】B 帯マイクでマイクリモートコントロールを設定する (取扱説明書 62 ページ)

チューナー 1/2 それぞれ別のマイクを設定する

<注意点> BAND SELECT で A 帯/B 帯を切り替えただけでは、感度などリモコン設定情報が残って見えます。

→下記どちらかの方法で対応してください。

- ① A 帯から B 帯に切り替えた後であれば、B 帯マイクでリモートコントロール設定しなおす。
- ② メモリーモードのメモリーの初期化 (M0-M3) を実行する。※この場合、全設定の初期化 (ALL) のご利用は避けてください。
初期化 (M0-M3) では現在の M1~M3 メモリー設定等が工場初期出荷設定に戻りますが、クイック設定モード登録は消えません。

②-5. 【登録操作】メモリーモードへ遷移 (取扱説明書 34 ページ)

運用モードからであれば、UP ボタン [▲] を長押し後、戻るボタン [EXIT] の長押しでメニューモードに遷移する。その後、UP ボタン [▲] を 1 回押して MEMORY MODE 選択後、設定ボタン [SET] を押すと遷移できます。

②-6. 【登録操作】設定パターンの保存 (取扱説明書 75 ページ)

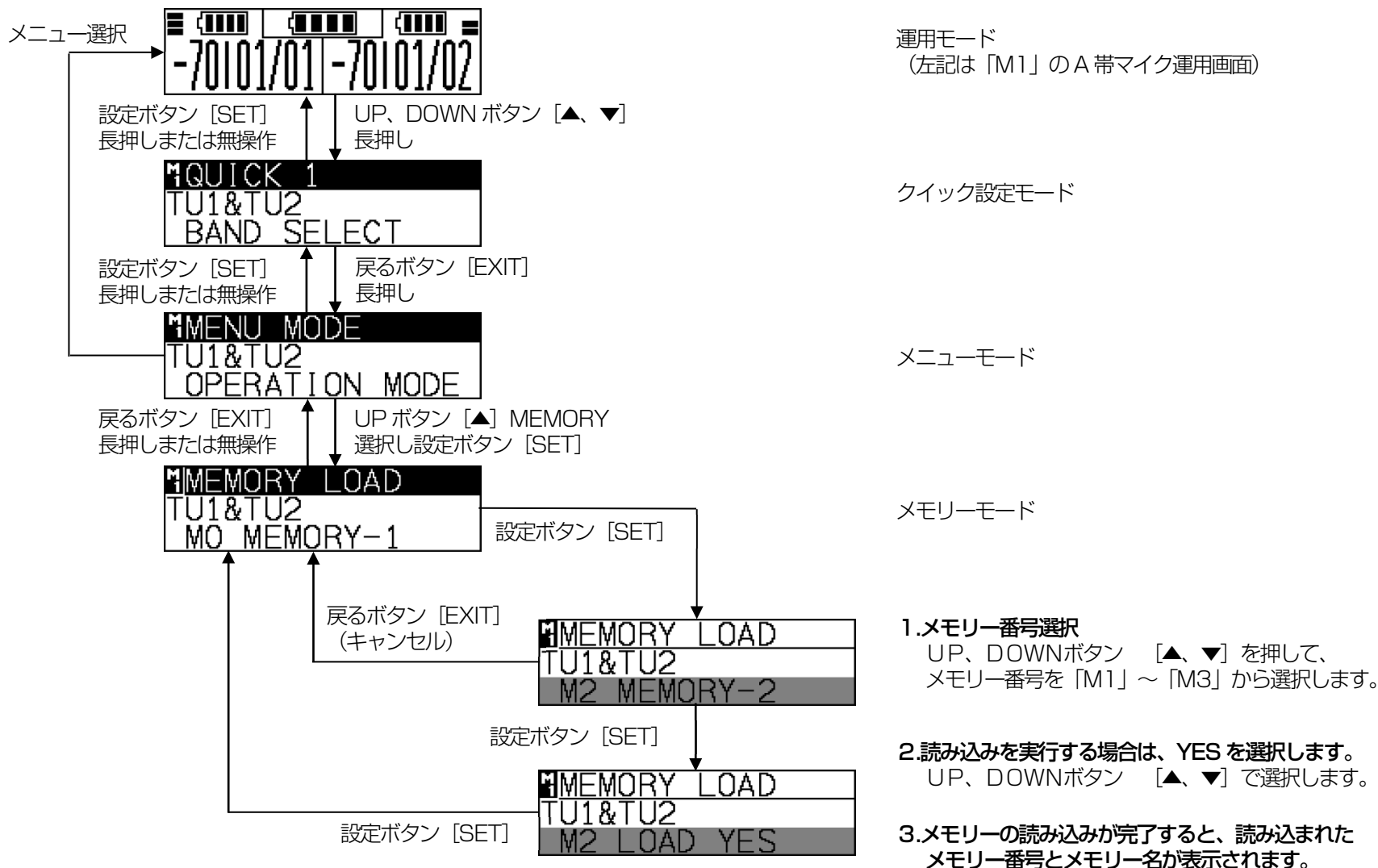
保存したいメモリー番号を「M1」～「M3」から選択します。
ここでは「M2」に B 帯マイクの設定パターンを保存します。

<注意点> 上記 A 帯マイクを書き込みしたメモリー番号と異なるメモリー番号を指定して SAVE (保存) してください。

②-7. 【呼び出し操作】設定パターンの呼び出し (取扱説明書 74 ページ)

呼び出したいメモリー番号を「M1」～「M3」から選択します。
ここでは「M2」に保存した B 帯マイクの設定パターンを呼び出します。

■ 設定パターンを呼び出す (例として「M2」に保存した B 帯マイクの設定パターンを呼び出し)



お詫びと訂正

受信機およびマイクのメニューモードに関して、取扱説明書に誤記があり、お詫びして訂正させていただきます。

誤：各モード表示中に戻るボタン [EXIT] を長押ししてもメニューモードになります。

正：運用モード (簡易設定モード含む)、間欠受信モード (受信機のみ)、スタンバイモード (マイクのみ) からメニューモードへ直接遷移するボタン操作はありません。

電源 OFF 状態、設定モード、クイック設定モード、周波数スキャンモード、メモリーモードからは戻るボタン [EXIT] の長押し操作等でメニューモードになります。
詳細は各モードへの遷移方法をご参照ください。(AB 共用受信機：34 ページ、A 型マイク：26 ページ)

設定時もしくは運用時に表示されるメッセージについての解説

メッセージ	内容	対応方法
① CHECK MIC MODE	マイクが設定変更受付不可のモードになっています。	マイクを運用モードにしてください。 リモートコントロール設定時は、マイクが設定モードになっている場合があるのでマイク (品番) を選択する前に、運用モードにしてください。
② DIFF A/B	受信機の帯域設定 (A 帯/B 帯) がマイクと異なっています。	リモートコントロール設定時は、受信機側の帯域を変更してペアリングをやり直ししてください。
③ DIFF MIC TYPE	リモートコントロール設定しているマイクと音声受信で取得したマイクの種別が異なっています。	各チューナーでリモートコントロール設定しているマイクとバンド (B 帯マイクでは遅延モード)、グループ、チャンネルの設定を同じにしてください。
④ MIC NOT FOUND	リモートコントロール対象のマイクを見つけることができません。	マイクの電源状態を確認してください。 受信機とマイクが離れている場合は、ワイヤレスマイクと本機の距離を 5m 以内に近づけて、間に障害物がない状態で使用してください。
⑤ RF ERROR : USE AUTO CH SETTING	現在使用しているマイクと同じ周波数を使うマイクが存在している可能性があります。	妨害しているマイクの電源を切るか、本機 (WX-DR131) の設定モードで自動チャンネル設定してください。
⑥ RF ERROR : CHECK LATENCY	B 型マイクと受信機の遅延モード (LATENCY) が違っている可能性があります。	設定モードで遅延モードを合わせてください。